

アントン・ブルックナー  
交響曲第7番 ホ長調 WAB 107 (ノヴァーク版)

リヒャルト・シュトラウス  
ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 Op.11

リヒャルト・ワーグナー  
歌劇「ローエングリン」より第1幕への前奏曲

Conductor  
中井 章徳

© 三宅章憲

第52回定期演奏会

# 倉敷管弦楽団

KURASHIKI ORCHESTRA

The 52nd Regular Concert



Horn  
森 博文

2026年 9月6日 日  
14:00 開演 (13:00 開場)  
倉敷市民会館ホール  
倉敷市本町17番1号

## 入場料

1階全席指定 2階全席自由  
2,000円 1,800円

学生(大学生以下) 1,000円 当日券各500円増

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。  
※車椅子でご来場の方は事前にご連絡をお願いします。

— 先着100名 —  
【要申込】

小中学生招待



応募はQRコード  
又は楽団HPより

## チケット取扱い

岡山シンフォニーホールチケットセンター  
岡山芸術創造劇場ボックスオフィス  
倉敷市民会館事務所  
インターネット予約…<https://teket.jp/3283/64620>



お問合せ

お問い合わせは電子メールをご利用ください。

✉ [info@kurakan.org](mailto:info@kurakan.org)

※お急ぎの方 チケット担当 090-9060-7464(マキオ)





© 三宅麻葉

Conductor 中井 章徳 *NAKAI Akitoku*

指揮者・音楽博士。岡山県倉敷市出身。くらしき作陽大学音楽学部および大学院音楽研究科、桐朋オーケストラ・アカデミー、イタリア・キジアーナ音楽院で指揮を学び、京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士(後期)課程を修了。指揮を志賀保隆、岩城宏之、大山平一郎、リヒルト・シューマッヒャー、エクハルト・ワイアント、ダニエレ・アジマン、ジャンルイジ・ジェルメッティ、下野竜也の各氏に師事。

1998年、ポーランドで開催された第21回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクールにて、指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞を受賞。あわせて全部門中の最優秀者に贈られるマスタープレイヤーズ大賞を受賞した。さらに、倉敷市芸術文化栄誉章(2000年)、第10回エネルギー音楽賞(2004年)、出雲市市民文化賞(2006年)、出雲市文化功労賞(2015年)などを受賞。2024年には音楽博士号を取得。

これまでに札幌交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団をはじめ、全国各地の楽団で客演指揮を務めている。

現在、出雲芸術アカデミー・出雲フィルハーモニック芸術監督、北九州シティオペラ客演指揮者、ヤマハ吹奏楽団常任指揮者、イタリア学会会員。出雲観光大使も務めている。



Horn 森 博文 *MORI Hirofumi*

10歳よりホルンを始め、12歳でW.A.モーツァルト《ホルン協奏曲第2番》を演奏。高校在学中には熊本日日新聞社主催「学生音楽コンクール」において最優秀賞ならびに熊本市賞を受賞し、早くからその才能を示した。

くらしき作陽大学(旧・作陽音楽大学)に特待生として入学し、新田厚氏に師事。卒業後は旧西ドイツ・ニーダーザクセン州立ハノーファー音楽・演劇・メディア大学へ留学し、ヤン・シュレーダー氏の薫陶を受ける。ドイツ留学中はジャーマン・プラスのマスタークラスに参加し、ワルター・ヒルガース氏、エンリケ・クレスポ氏のもと室内楽を研鑽。Niersteiner Waldhörerの一人として活動するとともに、ヒルデスハイム歌劇場へ客演奏者として出演するなど幅広い演奏経験を重ねた。

1990年、九州交響楽団に入団。1993年より2017年まで東京フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者を務め、同団のテレビ・ラジオ放送ならびに数多くの演奏会に出演した。さらに、チョン・ミョンフン、アンドレア・パッティストーニら世界的指揮者との録音にも参加し、数々の名演を世に送り出している。

また、日本を代表する金管奏者により結成された《侍BRASS》《BRASS HEXAGON》のメンバーとしても精力的に活動。BRASS HEXAGONのアルバム「Shalom」は音楽誌「レコード芸術」において「特選盤」に選出されるなど高い評価を得ており、金管アンサンブルの分野においても確固たる地位を築いている。

現在は国内外のオーケストラへの客演やアンサンブルなど幅広い演奏活動を展開しつつ、東京音楽大学ホルン科教授、くらしき作陽大学特任教授として後進の育成にあたり、日本の金管界の発展に寄与している。



## 倉敷管弦楽団



倉敷管弦楽団  
マスコットキャラクター  
♪くらっかん♪

倉敷管弦楽団は、「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に1974(昭和49)年に設立された市民オーケストラです。団員はそれぞれ仕事をしながら研鑽を重ねつつ、文化都市倉敷市にふさわしい楽団として地域に根差した活動を地道に行っております。

主な活動として定期演奏会や倉敷音楽祭への出演をはじめ、依頼公演や地域団体との共演などを通じ、クラシックの名曲から親しみやすい作品まで幅広い音楽をお届けしています。こうした活動により、これまでに岡山県教育功労者表彰(文化功労者)、倉敷市文化連盟賞、福武文化奨励賞などを受賞しています。

2026年は創立52年目を迎えました。20代から70代までの総勢90名超の団員で、地域の皆さまとともに音楽の喜びを分かち合い、倉敷の音楽文化の発展に貢献するオーケストラとして活動を続けてまいります。



楽団ホームページ

## オーケストラ 団員募集

[ 急募 ] ファゴット、ホルン

定例練習日 毎週月曜日19:00~21:30 練習場所 倉敷ふれあいの丘公園交流棟

団員資格 オーケストラ経験者で毎週の練習と定期演奏会に参加できること等

連絡先 楽団ホームページの「団員募集」のフォームからお願いします。

当日は駐車場の混雑が予想されます。周辺市営駐車場の空き状況はQRコードからご確認ください。



駐車場の空き状況